

崎山貝塚案内MAP



崎山貝塚ってどんな遺跡?

(国指定史跡崎山貝塚解説パンフレット)

- 発行日 令和5年1月20日 改訂
- 発行 宮古市教育委員会
〒027-0097 岩手県宮古市崎山1-16-1
TEL 0193-65-7526(文化課)
- 印刷 株式会社文化印刷
〒027-0037 岩手県宮古市松山5-13-6
TEL 0193-62-4578(代)



このパンフレットは文化庁による令和4年度地域の特色ある埋蔵文化財活用事業費国庫補助金を受けて、埋蔵文化財活用事業により製作したものです。



はじめに

崎山貝塚は縄文時代のムラや貝塚、そしてまわりの環境までもがそっくりそのまま残されています。崎山貝塚の縄文人たちは大規模な土木工事を行い、広場を中心とした計画的なムラを作りました。また、貝塚からは縄文人たちが食べた貝や動物などの骨のほかに、全国的にも古い時期の骨角器(骨や角で作った道具)が数多く発見されています。

このため、崎山貝塚は全国的にも貴重な遺跡であるとして、平成8年7月16日に国の史跡として指定されました。



村人紹介

今から約5,000年前の縄文中期に崎山貝塚に住んでいた縄文人たちを想像してみました。

ツォグは弓の得意な11歳の少年です。トムルは9歳でツォグの妹です。二人はお父さんお母さんといっしょに東ムラの竪穴住居に住んでいます。

縄文時代の村人たちの案内で、崎山貝塚を調べてみましょう。



崎山貝塚を調べる

発掘調査の手順



粗掘りと検出

北貝塚の調査が始まりました。畑を耕した土などの新しい地層を取り除きます。縄文時代の地層の上面までたどり着いたら、慎重に土を削り、遺構や遺物の広がり具合を確かめます。

用語説明 遺構=昔の人たちが生活した痕跡
遺物=昔の人たちが使った道具など



土を洗い流す

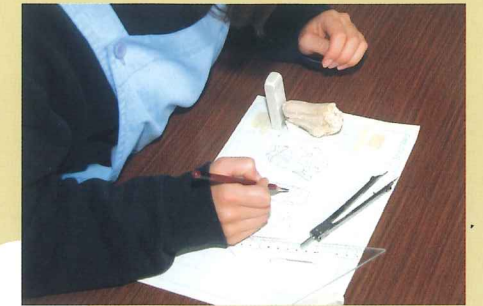
貝塚を調査した土は全部調査室に運びます。重さや体積を計った後にフルイを使って土を洗い流すと、土器などの遺物や縄文人が食べた動物の骨などが出てきます。



調査する-1

東集落で縄文中期(約4,500年前)の竪穴住居跡を調べている様子です。少しずつ掘って行くと、竪穴住居跡が埋まる途中ですてられた土器が出てきました。

用語説明 竪穴住居=地面を掘りくぼめて、柱を立て、屋根をかけた住居。



実測する

石器や骨角器などの遺物は使用法などを詳しく観察して図面に記録します。



調査する-2

北貝塚で縄文前期(約5,500年前)の層を掘っている様子です。この層は海から採ってきた貝を食べてすてた跡で、白く見えるのは全部貝ガラです。



骨や貝を調べる

貝塚にすてられた骨や貝ガラを調べることで、縄文時代の食生活を知ることができます。



記録をとる

遺構の形や埋まった状況、遺物が見つかった様子などは、図面や写真をとり記録します。



報告と公開

発掘調査の成果は、報告書としてまとめます。また、わかったことをみなさんにお知らせするために展示会を開き、パンフレットを作って配布します。



崎山貝塚って こんな遺跡



発掘調査により、
縄文時代のムラの様子が
次第にわかってきました。



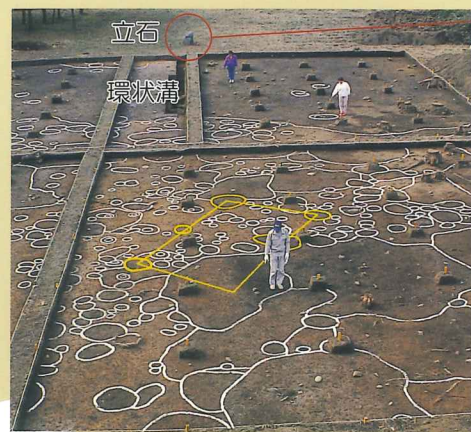
ちゅうおうひろば かんじょうみぞ
中央広場と環状溝のようす
黄色いところが中央広場で、回りの
黒い部分が環状溝です。縄文時代の
土木工事の跡だと考えられています。



はいせき いこう
四角形の配石遺構
死者を葬った後に石を並べたお墓の跡だと考え
られています。

縄文中期(約4,500年前)のムラ(中心部のようす)

どぼくこうじ
土木工事により、広場のまわりを
溝のように掘りこんだ縄文中期の
ムラのようすです。広場では儀式
が行われています。



東ムラの様子
小さい穴は柱の穴で、大きい穴(黒い部分)
は竪穴住居の跡です。黄色い線で結んだ柱
は建物跡になりそうです。

崎山貝塚のムラ

(前期～後期 全体の様子)



縄文後期(約3,500年前)のムラ(中心部のようす)

後期のムラは中央の広場に配石遺構が
作られます。イラストは秋の日の様子です。



発掘調査でわかったこと

- 1、約6,000年前(縄文前期)から3,500年前(縄文後期)までの2,500年間もの間、縄文時代のムラが続いた。
- 2、約4,500年前(縄文中期)になると台地上のムラは土木工事により広場を中心とした配置になる。
- 3、南と北の斜面は貝塚となり、南貝塚はイガイ類やチヂミボラなどの巻貝類を主体とし、北貝塚はムラサキイノガイを主体とする貝塚であることがわかった。特に北貝塚は層の厚さが2m以上になっている。
- 4、貝塚からは釣針や銚頭などの漁具が多く発見され、約6,000年前の縄文前期から発達した漁業が行われていたことがわかった。
- 5、崎山地区にはおよそ30ヶ所の縄文遺跡があるが、崎山貝塚はこれらの中心的な遺跡であることがわかった。

立石

石の各面が東西南北を向いて立っています。
儀式や祭りに使われたと考えられています。



ちゃんと穴を
掘って埋めて
あります。

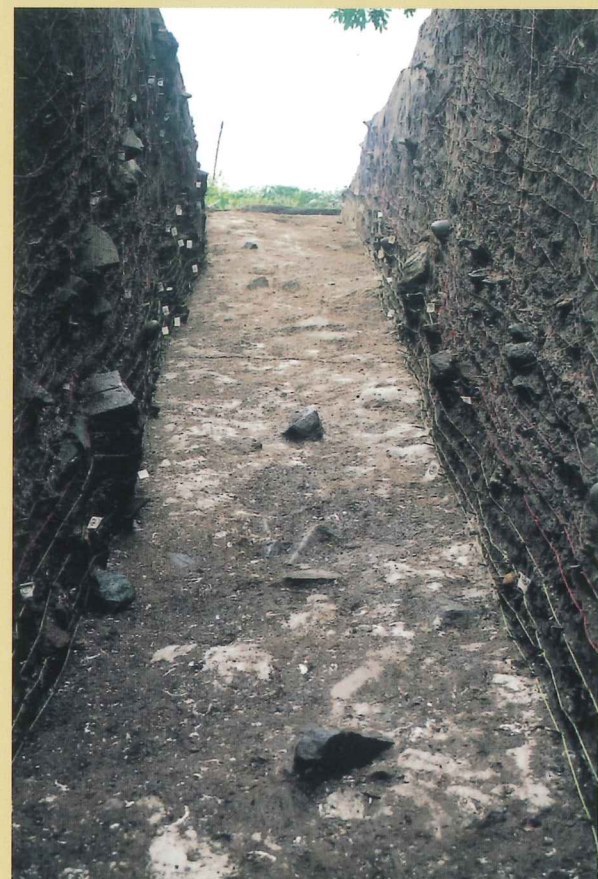
貝塚って何だろう



貝塚は縄文時代のゴミすて場だと考えている人も多いと思います。しかし、貝塚からは写真のように全くこわれていない釣針が発見されることや、きちんと並べられて遺物が発見されることもあります。

縄文人たちは生き物だけではなく、自分たちのまわりにあるすべてのものに魂が宿っていると考えていたようです。

ですから、彼らにとって貝塚は単なるゴミすて場ではなく、食糧となってくれた貝・魚・動物たちや、役目を終えた土器や石器などの道具たちに感謝の気持ちを込めて、それらの魂をもとの場所に送り返す場だったと考えられます。



調査中の北貝塚



こわれていないのにすてられた釣針。



まだ使える状態なのにすてられた土器。



カツオの背骨が繋がったまま見つかった様子。6cmほどのぶつ切りにして食べたと考えられます。

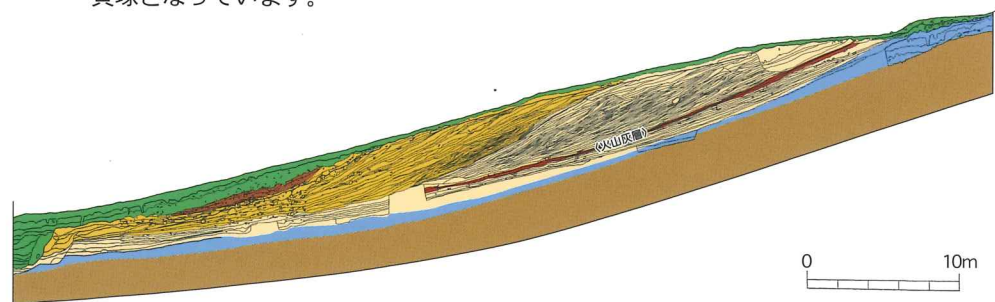


左からクジラの骨・骨角器・人骨が並んで見つかった様子。縄文人が儀式を行った跡だと考えられます。

北貝塚の断面図

- 弥生時代以降の層
- 後期の層
- 中期の層
- 前期の層
- 火山灰層
- 粘土層
- もとの地形

中期の層の下半分と前期の層のほとんどが貝塚となっています。



縄文時代の食事メニュー

北貝塚から発見された骨や貝がらなどを詳しく調べることにより、縄文人たちの食べていたものが次第にわかってきました。



まず目につくのが大きな骨です

けものや鳥の骨です



キジ



ウサギ



イノシシ



シカ

シカ・イノシシなどのけものやキジなどの鳥を食べていました。

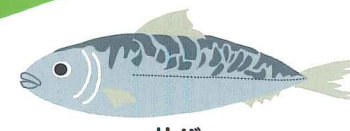


少し小さめの骨がたくさん見つかりました。

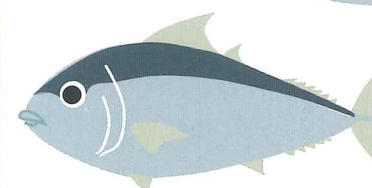
魚の骨です



イワシ



サバ



マグロ



ウミタナゴ

マグロからイワシまで40種類以上の魚を食べていたことがわかりました。崎山貝塚の縄文人は魚好きだったんですね。



小さくて平らなかけらもたくさんみつかります。

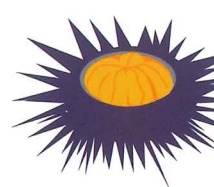
貝やウニのカラです



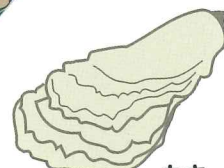
アワビ



イガイ



ウニ



カキ

イガイ・カキなどの岩場にすむ貝が多いのが特徴です。また、ウニも好んで食べていたようで、ウニのカラが厚く積もっているところもありました。



炭になった木の実とキノコの形をした土製品もみつかります。



くり

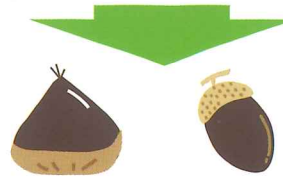


くるみ

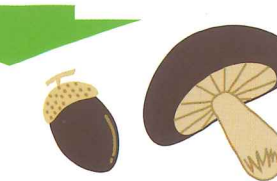


ドングリ

炭になった木の実はドングリやクルミなどでした



くり



ドングリ



きのこ

縄文人たちの主食はドングリなどの木の实だったのではないかと考えられます。また、キノコ・山菜・海藻類なども食べていた可能性が考えられます。

縄文人たちの道具箱

崎山貝塚から発見された道具には粘土で作った縄文土器・石で作った石器・骨や角で作った骨角器などがあります。



土器

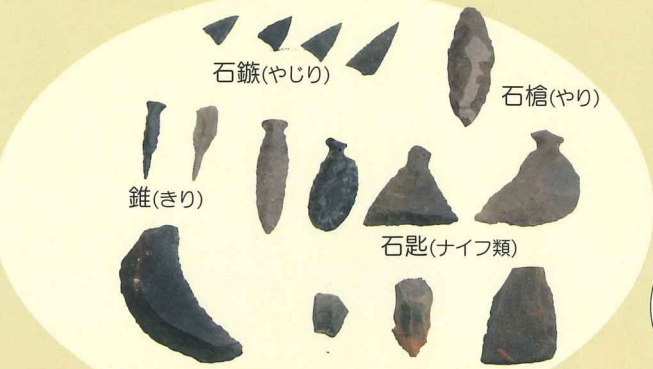
縄文土器は時期によって形や模様が変わりますが、各時期を通して最も一般的な形は胴の長いバケツのような形をしたもので、煮炊きに使われたものと考えられています。上の写真は縄文中期の初め頃(約5,000年前)の土器です。



セッセッ…
なかなか火が
おきないな

もう食事の
時間ですよ

わたしは
土器作りの
練習中なの



打製石器

矢の先に付けた石鏃・槍の先に付けた石槍などは獲物を捕る時に使います。上につまみのついた石匙はナイフのような使い方が考えられます。先の尖った石鏃は硬いものに穴をあけるドリルや鏝のような道具です。



今日の
えものは
ウサギだ

やりりは矢の
先につけて
使うんだよ



う～ん
おもいよ

寒くなる前に
家をつくって
しまおう

家をつくる
ために石斧は
必要なんだ

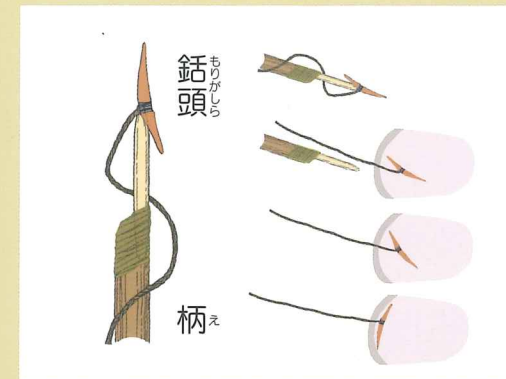
磨製石器

石斧は木を切り倒す時や割る時などに使われます。竪穴住居を作る時には必要な石器です。



崎山貝塚では約6,000年前の縄文前期から釣りが盛んになります。シカの角で作られた釣針は小魚からマグロまで、魚の大きさや習性に合わせて発達しました。また、同じくシカの角で作った銚頭は岩手県で最古の資料です。似たような銚頭は北東北から北海道に分布し、この地域では同じような銚頭が行われていたと考えられています。

今日も大物を
釣り上げるぞ



銚頭の使用法

海獣など獲物の体内に打ち込まれた銚頭はロープを引っ張ることにより回転して抜けにくくなります。



キノコ形土製品

キノコの形をした焼き物です。



動物形石製品

動物の形をしたもので、石鏃などと同じ方法で作られています。



土偶 写真は中期の土偶のかけらです。線などで顔を表しています。

装身貝類

骨や石で作られた耳飾りやペンダントなどです。



うで輪やアンクレットは貝玉をつけて作ります。

骨角器や石製品などのアクセサリを身に付けた様子です。

縄文の暮らしを体験してみよう

崎山貝塚では、縄文の暮らしについて学習するだけでなく、自分たちで体験することもできます。

土器作り①



粘土ひもを巻き上げて形を作ります。



模様を付けたらできあがりです。このまま十分に乾燥させます。



崎山貝塚の体験学習広場で野焼きをします。最初はじっくりと焙り、最後に一気に焼き上げます。



完成!

やった!!



火おこし②

板と棒だけで火をおこします。



石器作り

自分だけの石器やペンダントが作れます。

こちらの方は石器作りの先生です



的当て③

イノシシなどの的をねらって矢を飛ばします。

上手く当たるかな?



ドングリを食べる

崎山貝塚の縄文人たちはドングリなどの木の実を主食にしていたようです。どんぐりはそのままではシブいので、あく抜きして食べます。



秋になりドングリの実が熟して落ちたらリスなどの動物に負けないように急いで拾い集めます。

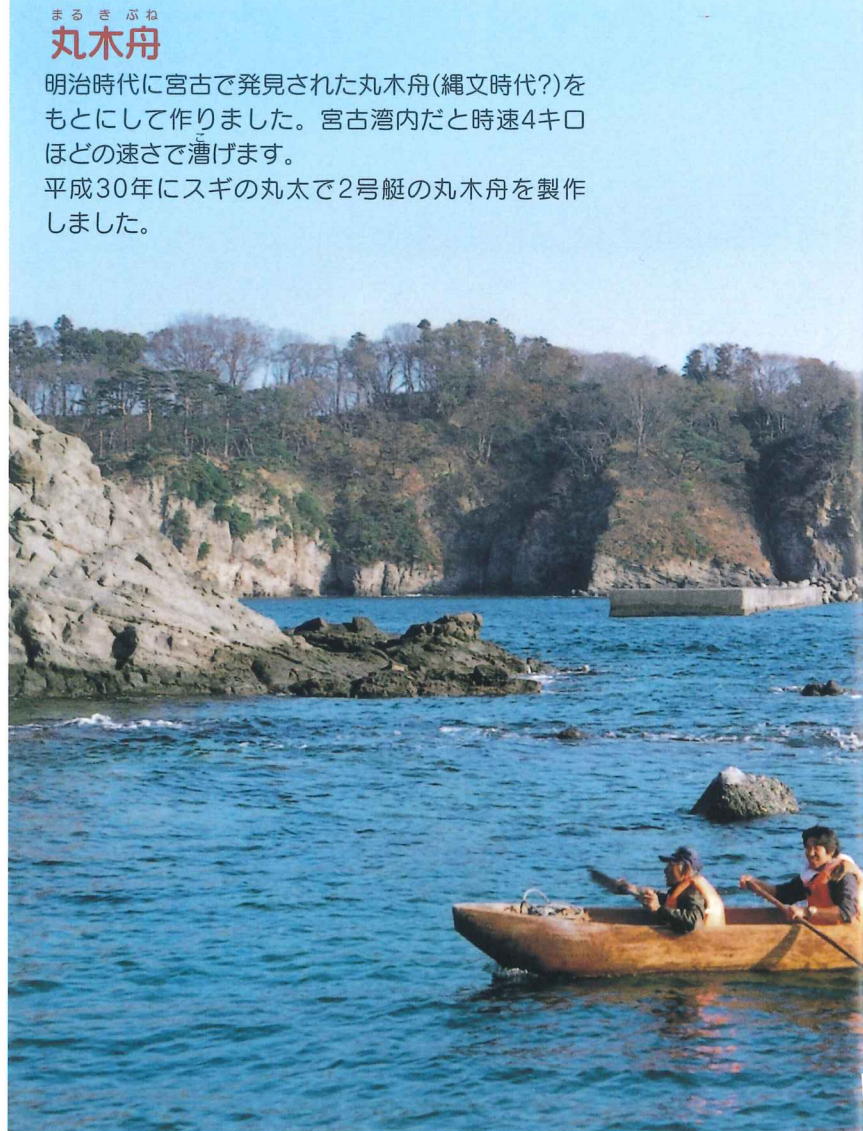


ドングリのあく抜きは2日間もかかるのよ

軽くゆでて虫を殺したら乾燥させます。その後、石で割って中身を取り出します。



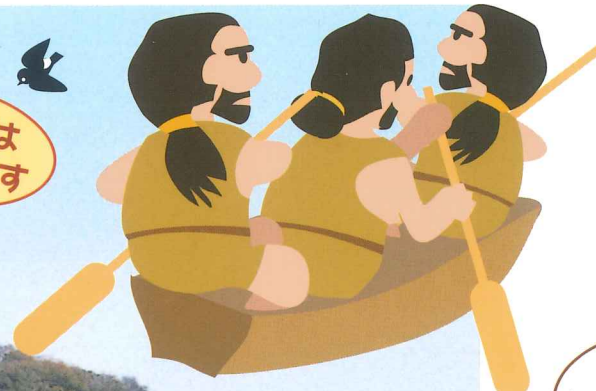
土器を使って、灰汁や真水で何回も煮てシブを抜きます。



丸木舟

明治時代に宮古で発見された丸木舟(縄文時代?)をもとにして作りました。宮古湾内だと時速4キロほどの速さで漕げます。平成30年にスギの丸太で2号艇の丸木舟を製作しました。

こちらは日出島です



縄文まつり

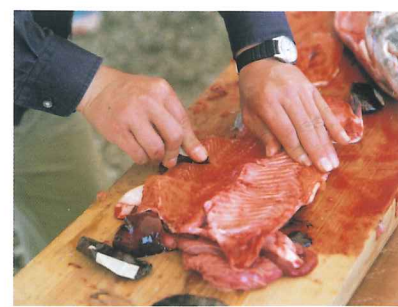
毎年11月3日は縄文まつりの日です。色々な縄文体験や縄文鍋の試食もありますので、遊びに来て下さい。

クリやクルミとあわせてこねた、崎山名物ドングリ団子の完成です。



塩作り

土器を使って海水から塩を作ります。



縄文料理

石器で調理し、土器で煮て作ります。味付けはもちろん土器で作った塩です。



番号のついているものが常時体験できます。その他にも体験学習メニューがあります。詳しくは教育委員会にお問い合わせ下さい。
TEL 0193-65-7526(文化課)